

このたびの選挙では、温かいご支援と励ましをいただき、本当にありがとうございました。皆さまのおかげで、新たな一歩を踏み出すことができました。

これからも感謝の気持ちを大切にしながら、地域のために誠実に努めてまいります。どうぞ変わらぬご支援と温かく見守っていただけますよう、よろしくお願いたします。

…

初めての議会は、緊張しながらも、聞けば聞くほど丹波市の取り組みに対して



## 民生産建常任委員会 広報公聴副委員長

興味が湧いてきて、議案内容のこれまでの経緯など、先輩に聞いたり、調べたり。とにかく言葉をとりこぼさないようにと、答弁をノートにひたすら書き取ることしています。

先日は報告座談会も開催しました。みなさんと議会で何が話し合われたか、そこから、日常のあんなことこんなこと話が広がって有意義な時間でした。

なんと、広報公聴委員会は正副ともに新人で家田優樹議員とともに先輩方に指導いただきながら頑張っております。

初めての議会では請願書の紹介議員をしました。

持続可能な学校の実現をめざす意見書が可決され国へ送付されました。カリキュラムが増えても現行のカリキュラムが減らない。個人個人に合った教育の推進や、タブレットの導入など、常に新しいスキルが求められる、子供を預ける身としては、先生方のお仕事の多さには、頭が上がりません。はたらず、生徒とゆっくり向き合う時間が得られることは子どもたちにとっても大事な

### 丹波市議会議員

## 高橋まみの

## 3つの柱

農地の  
減少をふせぐ

Uターン  
孫ターンの促進

女性の声を  
丹波市政へ



私たちは、貨幣経済の資本主義の中で生きています。けれど丹波に暮らしていると、人間も生物であり、自然の中でしか生きていけないことを思い出させてくれます。実は本来の豊かさを十分に享受できる環境に住んでいるのです。

世界的に不安定な時代の中でも、地産地消が可能な丹波の土地は、何にも揺るがされない代えがたい宝です。そんな素敵な丹波の土地を守り、次世代に引き継いでいきたいと思っています。



高橋まみ  
公式ホームページ  
takahashimami.info

## 委員会協議会での質問

12月に始まって2月終わりまでに民生生産建委員会と協議会を重ねました。

### その中で質問したこと

(問)議案119号新エネルギー推進協議会においての成果は？

薪ボイラー、太陽光パネルなどなど一定の成果を得たとのこと。ぜひ丹波市環境審議会でも、新エネルギー推進をパワーアップして審議していったほしいです。

(問)带状疱疹ワクチン定期接種の開始について

乾燥組み換えワクチンは2020年に認可されたばかりの遺伝子組み換えワクチンですが丹波市は新しいワクチンについて安全性についてどうお考えか？

接種における後遺症なども含みリスクとメリットをきちんと市民にお伝えするつもりです。とのことでした。インフォームドコンセント…十分な説明を受けて自発的

納得性をもって医療にかかわることはとても大切なことだと思います。当局はどんな書面でみなさんに、ワクチンのご説明していくのか、見守りたいです。

(問)精神障害者医療費助成制度について、入院が償還払いか現物支給になったが通院の現物支給の見通しは？

県の制度改正に伴い順次現物支給に変更予定。

(問)農業者への生産資材高騰支援対策について。

なぜ景観作物、地力増進作物には交付しないのか。交付額の算定根拠が農水省の価格指数をベースにしており景観作物等の指数がないので外している。とのことでした。

耕作放棄地にならないように、日々のうちにかかわっておられる活動にも同じように燃料や資材高騰の影響は出ていると思うので、今後、交付金の範囲内で、

指数の評価対象を変えるなどしてもらいたいです。

## 丹波市子供の

### 権利条約・

### ごども計画の策定について

(所感)スワミヴィベーカーナンドは教育を『ひとに生まれながらに備わっている完全さの表出』と言っている。生まれながらの魂は完全です。その輝きをいかに曇らせないように年齢を重ねることが出来るか？高い位置から子供に手を差し伸べるのではなく子供の本質に教わる姿勢を忘れないことが大人に求められることではないでしょうか。

私は初めて出産したときこの小さな子の命を死なせてはならないと思えました。一日一日、早く過ぎてほしい。毎日朝起きるときに、今日も元気に生きてよかったです！とごどもに感謝する毎日でした。その時に一日でも



長く生きている人たちに尊敬の念が、わきました。先日はご近所の方にお孫さんとした約束をやぶれなくて、禁煙したとお話を伺いました。可愛いらしい純真な目を見ながら約束してしまつたら、嘘つけへんわ！とおつしゃっておられました。ごども権利条例の中に、『ごどもの権利を肌で感じる場をつくること』という文言が削除されています。子供が成長するうえで安心できる居場所が多世代の人との交流がとても重要です。核家族が増え、丹波市の子育て支援に20〜40代の女性の就業率を下げない目標が含まれていました。

ということはお両親共働きの世帯を増加させることで出生率を上げる取り組みがされていくということです。家庭の中で育まれていく人格形成に必要な毎日知った顔の大人とゆったり過ごす時間、子供の出会う社会がどんどん少なくなってきた。しかしながら、多世代との交流はまさに丹波市の皆さんと作っている環境だと思えます。知らない人に挨拶をされると、不審者と呼ばれる時代だから、知り合いをどんどん増やして、地域で子供を育てる丹波市になつたら素敵だと思えます。